

平成28年度環境調和型バイオマス資源活用モデル事業委託業務  
に係る提案書の評価基準表

評価項目		要求要件	得点配分	技術上の基準	採点
大項目	中項目				
0.	公募要領の遵守	公募要領の内容に基づき実施方法が提案されていること。	10	提案書が全体として公募要領の内容を遵守しており、事業の目的に矛盾する内容がないかどうかを評価する。	
1.	提案事業の背景・目的	公募要領を踏まえ、事業を行う上での背景、目的を記載すること。	10	業務の目的を的確に理解しており、地域課題等を踏まえた目的性を有しており、業務の成果を得る上で有効であるかどうかを評価する。	
2.	提案事業の内容	(全体事項) 家畜ふん尿等の収集からメタン発酵、発電、電気・熱の利用、消化液の処理(下水処理場の活用)全般に係る一連のフロー等を記載すること。	10	一連の具体的なフローが具体的に記載されており、実現性、有効性などの観点から妥当であるかどうかを評価する。	
		(事業の詳細) 原料、技術、施設計画、エネルギー・熱利用計画、副産物の利用計画を記載すること。	10	原料の確保、技術、施設計画、エネルギー・熱利用計画、副産物の利用計画が具体的に記載されており、実現性、有効性などの観点から妥当であるかどうかを評価する。	
3.	事業の実現性	(関係者の協力体制) 関係者の協力体制等、事業を実現できる体制であることを記載すること。	5	関係者の協力体制が整っており、事業を実現できる体制であるかどうかを評価する。	
		(事業の継続性) 実証事業成果の活用等を記載すること。	5	実証事業後における成果の活用等を評価する。	
		(事業実施に関する事項) 必要となる関係法令等の許認可の見通し、地域住民等関係者との調整状況等を記載すること。	10	必要となる関係法令等の許認可の見通し、地域住民等関係者との調整状況等が具体的に記載されており、これらを勘案し、実現性などの観点から妥当であるかどうかを評価する。	
4.	事業の効果	CO2削減効果、その他の効果、波及効果について記載すること。	10	確かなCO2削減効果が得られること、またその他の効果、当該モデル事業の他地域への波及性について、具体的に記載されており、これらの効果の有効性などの観点から妥当であるかどうかを評価する。	
5.	事業の実施計画	提案する業務の具体的なスケジュールを記載すること。	5	具体的で実施可能な計画であるかどうかを評価する。	
6.	業務の取りまとめ方針	取りまとめ方針を具体的に記載すること。	10	取りまとめ方針について具体的に記載されており、業務の目的や内容を踏まえた適切な取りまとめ方針となっているかどうかを評価する。	
7.	事業の実施体制	事業を適切に遂行するための実施体制を記載すること。	5	責任者の氏名・役職、従事者の数・役割分担、内・外部の協力体制等が具体的に記載されており、業務を円滑に実施できる人員配置、内・外部の協力体制等が構築されているかどうかを評価する。	
8.	予算	提案する業務の実施に要する経費の内訳を示すこと。	10	提案された業務の内容と矛盾のない経費、効果的で効率性に優れた経費が計上されており、費用対効果が高いものとなっているかどうかを評価する。	
合計			100		

採点は、技術上の基準に基づき、優;10点(5点)、良;6点(3点)、可;2点(1点)、不可;0点、の4段階評価とする。